

平成11年度 特別会計

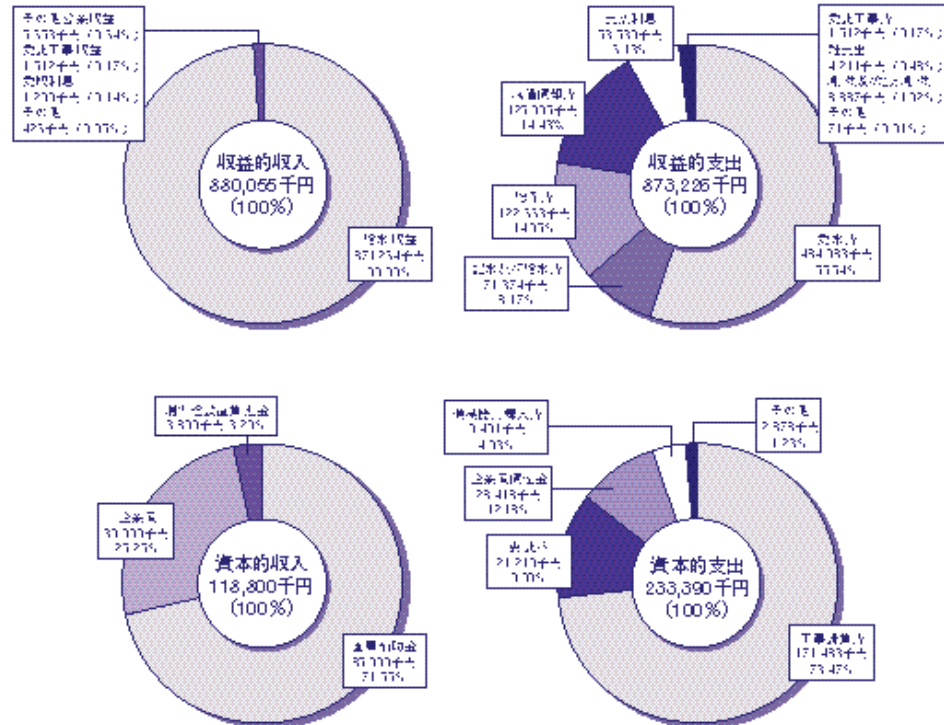
水道事業会計決算

毎年度減少傾向にあった純利益金額がついに100万円台に減少し水道事業経営の抜本的な立て直しが緊急に求められる。

— 水道事業経営の課題 —

- 1. 水道料金への消費税不転嫁。
- 2. 給水人口の増加率が鈍化傾向。
- 3. 有収率の減少 (92.9%)
- 4. 設備投資と減価償却の増加

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (114,590千円) を損益剰余留保資金 (95,590千円)、消費税資本的収支調整額 (19,000千円) で補てんした。



決算認定 全会一致!!

国民健康保険

歳入：23億6,459万3千円
歳出：23億5,039万円

保険料の収入率が現年度分・滞納繰越分とも前年度より上昇し、保険料総額の収入率の上昇に繋がっている。収入未済額も前年度より僅かながら減少しているが、担当課において尚一層の収納対策を積極的に取り組んでもらうことを要望した。支出額のうち、保険給付費が前年度に比べ、5,524万6千円の減となっている。これは一般・退職者被保険者ともに医療給付費の減が主な要因である。本町は毎年の人口増加に伴い、被保険者も増加している。被保険者の健康づくりが最重要課題であり、保健施設事業の一層の充実が望まれる。



老人保健

歳入：17億8,773万2千円
歳出：18億1,554万9千円

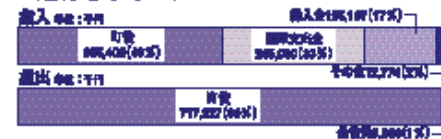
歳出額の99.1%は医療給付費である。当年度は年度途中で補正減を行ったが、最終的には翌年度からの繰り上げ充用により決算した。これは老人保健特別会計の制度上から生ずるもので、冬場にインフルエンザ等が流行したことに起因。人は加齢とともに、体力も衰退してくるから、日頃の保健事業や保健婦の有効活用を図り、健康増進に努めることを要望した。



公共下水道事業

歳入：7億3,834万円
歳出：7億2,592万5千円

現年度迄の工事進捗状況は整備面積で22%、供用開始は平成14年初頭を予定している。下水道の整備は長期間、多額の事業費を要する事業であることから、工事の適正な執行、財源の確保、資金計画の万全な対策を立て、スムーズな事業の遂行を求めた。



土地区画整理事業

歳入：1億4,515万2千円
歳出：1億3,062万9千円

事業終了目前にきて、地権者との合意が得られず、工事が進展しない問題と返還金(買戻し)の問題があり、工事の早期終了を目指してお互い歩みよる事が大事ではないか、又、保留地処分促進、整備工事再開のために地権者との調整に最大限努力することを求めた。

